



はくさんコミュニティ・スクールだより



夏休みわくわく講座

平成30年9月6日発行第4号

7月24日、26日、30日の3日間、子どもたちが楽しみにしていたわくわく講座が実施されました。

いちごジャム作りや剣道では、児童が先生となり進行し、楽しく充実した活動ができました。科学実験では、液体窒素を使った楽しい実験に目を輝かせ、うどん作りでは生地を足で踏み、伸ばしたり切ったりして作ったうどんに大満足でした。キーホルダー作りや平和ポスター制作にも熱心に取り組み、貴重な体験ができました。延べ243人の児童が参加し、40人以上のサポーターの皆さんが支援してくださいました。学校運営協議会委員、PTA役員、保護者、社会福祉協議会、四国電力、ファンタジーの皆さんありがとうございました。



平和ポスター



キーホルダー作り



いちごジャム作り



科学実験



うどん作り



剣道であそぼう



ストラップ作り



おはなし会



わたしが楽しかったと思った講座は平和ポスターです。サポーターや先生のみなさんに色ぬりのコツやポスターの構図などを教わりました。色ぬりは、ふつうの色ぬりとはちがっていて、ポスターをぬるときにはたくさん気をつけなければいけないことがあると分かりました。例えばはじめに背景から色ぬりする。色は目立つ色の方が良いなど、注意する部分が多く、ためになりました。わたしはこのことを通してポスターについてしっかり学べたので、いい体験になったと思います。



サポーターの方がうどんの生地を作ってくださっていたので、生地をうんたうんた伸ばしたり、めんを包丁で細く切ったりしました。一番むずかしかったのは、うどんを同じ太さに切ることでした。大きい鍋で生地を湯がきました。湯がき上がったうどんを水で洗うとうどんがきれいに光っていました。だしをかいぼくは2玉ぐらい食べました。手作りはとてもおいしかったです。



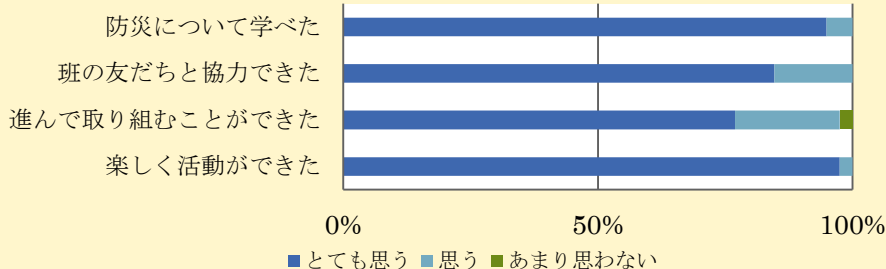
防災キャンプ



8月18日、19日におやじ・おふくろの会による第5回防災キャンプが行われました。今年は、白山小校区の奥山地区で実施しました。地元の消防団や高松市消防局三木消防署の皆さんに、簡易救命担架、水消火器、AEDの使い方を教わりました。夕食には、婦人会の皆さん手作りの防災食をいただきました。少ない水で簡単に作れるごはんやポトフに、子どもたちはとてもおいしいと感激していました。キャンプ恒例の三木町体育協会の皆さんによる盆踊りでは、団扇を手三木音頭に興じました。翌日には、高仙山に登りました。2日間を通して奥山地区の自然の豊かさと地域の皆さんの優しさに触れながら、防災の知識を学ぶことができました。



H30年度 防災キャンプふり振り返り (児童)



児童の感想

わたしがキャンプで心に残ったことは、消火器を使った防災訓練です。ハンドルをおすと水が出て電柱に当てることができました。
二目に、高仙山に登りました。急な坂道を約三キロメートルも歩いて苦しかったです。頂上から見た景色はとてもきれいで、涼しい風が気持ちよかったです。みんな、わあ山が見えた。きれいだな、と話していました。
お話を聞いたサポーターのみなさん、ありがとうございました。

児童アンケートより

- ・防災キャンプで本当の防災食を食べたり、担架を作ったりして、本当の災害が起きた時は大変だということが分かりました。
- ・防災のことが楽しく学べて、どう行動すればよいかなども分かってよかったです。
- ・防災食などいろいろな準備をしてくださり、ありがとうございました。
- ・今回、新しく防災のことがたくさん分かりました。大きくなったらこの経験を生かしたいです。

おやじ・おふくろの会のみなさんのアンケートより

- ・奥山地区は涼しくて活動しやすかった。
- ・準備等は大変だったが、子どもたちの笑顔が見られたのでよかった。
- ・子どもたちがいきいきと活動している姿を見て元気をもらった。
- ・おやじの会もよい勉強になった。地元のみなさんと交流ができた。

ぼくが心に残ったことは、二目の防災食です。ぼくは、水やキャンパンは食べたことがあります。
今回の防災食体験で、いつも食べているものと同じあたためたものが食べられると知りました。防災食は思ったよりおいしかったです。
サポーターのみなさん、ありがとうございました。